

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010180

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 H30 雄武中学校大規模改修工事 268,100千円 ・校舎167,000千円 ・体育館97,000千円 ・工事監理4,100千円 H31 雄武中学校大規模改修工事 168,500千円 ・校舎166,000千円 ・工事監理2,500千円
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	A		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	学校環境整備事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	10 建設水道課		
事業指標	学校施設の適切な維持管理			11 町有施設整備室		
事業目標	小学校5校・中学校1校		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
全体計画		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	学校施設の経年からなる老朽化等に対する改修工事等の実施	各小学校電気工作物改修 (雄武・沢木・幌内・豊丘) 8,500千円 雄武小学校スライド黒板改修 (4・5・6年) 3,400千円 豊丘小学校緑水園堆積土撤去工事 1,950千円 豊丘小学校駐車場改修 12,000千円 沢木小学校プールシート取替 工事 1,150千円	雄武小学校体育館便所改修 2,700千円 雄武中学校グラウンド整備 5,092千円 幌内小学校プール改修 1,080千円 豊丘小学校プール改修 1,261千円 豊丘小学校サイクルポート 設置工事 1,674千円 非構造部材状況調査 (沢木・幌内・雄武中) 5,500千円	各小中学校体育館改修工事 (沢木小・雄武中) 45,000千円 豊丘小学校駐車場改修工事 4,700千円 豊丘小学校排水改修工事 7,500千円 雄武中学校玄関前改修工事 2,300千円		雄武中学校大規模改修工事 ・実施設計 12,800千円	
	事業費(千円)	116,607	27,000	17,307	59,500	0	12,800
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	19,270			15,000	4,270	
	道支出金	0					
	地方債	36,300			30,000	6,300	
	その他	0					
一般財源	61,037	27,000	17,307	14,500		2,230	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	57,067	26,400	30,667	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	567		567				
一般財源	56,500	26,400	30,100				
関 連 事 項	特定財源の名称 地域の元気臨時交付金 防災機能強化事業補助金 全国防災事業債	【評価・実績】	(実施内容等) 各小学校電気工作物改修 雄武小学校スライド黒板改修 豊丘小学校緑水園堆積土撤去工事 豊丘小学校駐車場改修 沢木小学校プールシート取替 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 共栄小学校屋上防水シート取替 雄武小学校体育館便所改修工事 雄武小学校特別支援学級改修工 豊丘小学校サイクルポート設置 雄武中学校グラウンドバックネット 取替工事、整備工事 他 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)	(実施内容等)	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	小学校4校	小学校4校・中学校1校	小学校2校・中学校1校	中学校1校	
		年度達成率	98%	177%	0%	#DIV/0!	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	23%	49%	49%	49%	49%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	学校環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係長	武 藤 知 憲

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	児童・生徒・教職員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	状況確認、施設整備学校数	
【抱える課題やニーズは】	学校施設の老朽化に伴い、学校施設の内外部の整備が必要となっている。	指標(指標計算式/解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	危険箇所の修繕による安全性の確保及び老朽設備の改修による学校施設の充実を図る。	① 小中学校数	目 標 年 度	平成26 年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	学校施設の適正維持と適切な学校環境の推進を図る。		目 標 値	6 校
			実 績 値	6 校
			達 成 度	100.0 %
		②	目 標 年 度	平成26 年度
			目 標 値	
			実 績 値	
			達 成 度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	状況把握	学校管理職、工事担当課との現状確認により、緊急性及び必要性を考慮し、前年度に工事施工箇所及び工法について確認しています。		
	工事施工	教育環境を維持するために各種工事を発注しています。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	学校施設において、安全性の確保は、最優先事項であり、また、学校施設の充実を図るための施設改修の実施は必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	各小中学校の状況を把握し、修繕、改修等を実施することにより、学校施設の安全性の確保及び学校環境の推進が図られていると判断します。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	事業の実施にあたり、前年度の調査に基づく施工としており、可能な限り、町負担額の抑制に努めています。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	全学校を等しく調査しており、優先性、緊急性を考慮し、対応しており、公平性が保たれていると判断します。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
老朽化している学校施設の改修工事を施工することにより、衛生面の環境整備の充実が推進されており、計画どおり事業が進んでいます。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
調査検討結果を踏まえ、今後も必要かつ適切な修繕を行うとともに、学校施設の経年劣化に起因する改修整備等は、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止